

# テクニカルコミュニケーションの4つのリデザイン：SDGs時代へ

黒田 聡 Satoshi Kuroda

Councilor of Japan Technical Communicators Association

Guest Associate Professor at Center for the Study of Co\* Design, Osaka University

## 1. SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標



2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。17のグローバル目標と169のターゲット（達成基準）からなる（出典：外務省）。

働き方改革などの政策の背景として社会に影響を与えてきたが、いま企業活動にも波及してきている。SDGs時代には、企業人は経済的価値と社会的価値をともに創造することが求められる。テクニカルコミュニケーターは、確かな情報源に基づき、コンプライアンスを重視した情報の作成と発信を堅持してきたがゆえに、高い信頼性を保持している。

接点を持ち得るターゲット：4.4、4.7、8.2、9.2、9.b、12.3、12.4、12.5、12.8、17.10

## 2. キュア&ケア市場拡大への貢献を通じてSDGsに寄与する

医療体制と社会保障予算のひっ迫を背景に、在宅キュア、在宅ケアへの転換が、持続可能な社会の実現のための喫緊の課題となっている。医療施設内で医療者立ち会いの下で使われてきた機器が、家族や本人による直接利用に切り換えられることが増える中で、健康情報リテラシーの向上に寄与する情報の拡充が求められる。

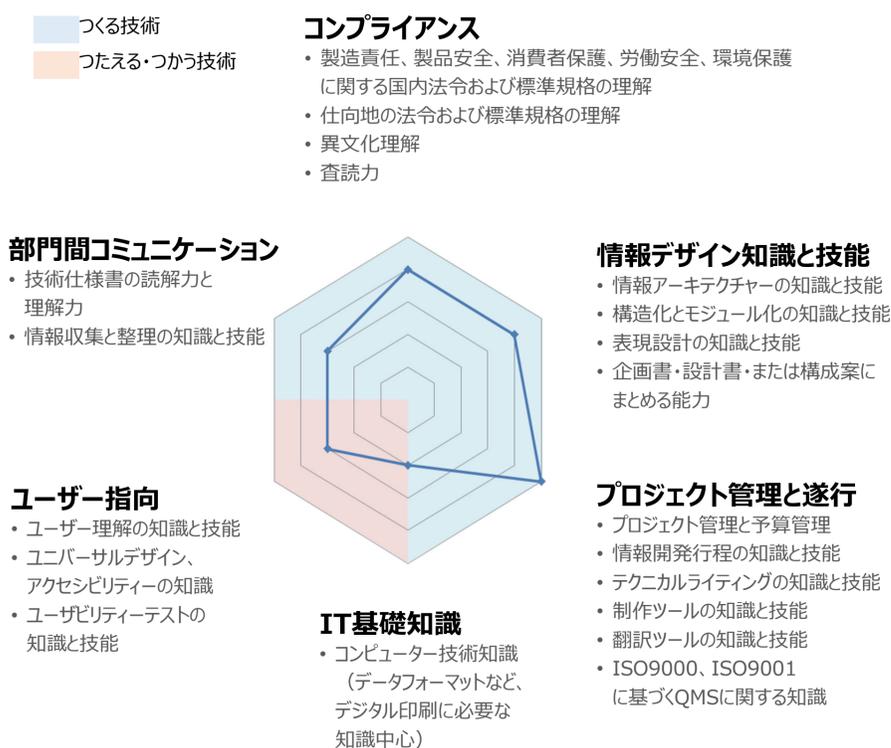
今後大きく伸びるのはキュア&ケア市場である。このニーズに貢献できるようにテクニカルコミュニケーションをリデザインする。

### 【リデザインのための4つのミッション】

1. 紙を基盤としていたメディア概念に、Webとナラティブを基盤とする知見を加えること。
2. 文書を基盤としていた成果物概念を、インフォメーションを基盤とする概念に置きかえること。
3. ISO9001のみを想定していた品質概念に、ISO13485を包含できる知見を加えること。
4. 一般製品や産業機器と関連サービスを想定していた適用対象に、キュア&ケアの機器とサービスを加えること。

## 3. リデザイン：コンテンツと業務の刷新のための知識・技能の見直し

### 今まで



### これから



背景：紙媒体主体、文書単位、コンテンツ企画の安定、反復業務主体

背景：ネット媒体主体、情報単位（細分化）、市場ニーズの変化  
→コンテンツ企画の刷新、業務プロセス改革、利益相反の管理強化